

【最高教育目標】 Highest Educational Goal

自立する生徒、自律する学校

【学校教育目標】 School Educational Goals

まわりと繋がり、「学ぶ力」を身に付ける

教育目標を新しくするにあたって（R6～）

面白くて楽しい、ためになる学校を作る。

目の前の生徒をしっかりと見取り、桃陵中学校の生徒に合った教育実践を行う。スタンダードや平均化を狙う必要はさほど感じていない。むしろ独自性を作り上げたほうが魅力のある学校作りにつながると思う。

その中で生徒が自信を持ち、はつらつと躍動感にあふれ、様々な場面で活動することを期待したい。

また、目標に掲げた「学ぶ力」は広義の意味で学力と捉える。学ぶ意味や方法を身に付け、その力を養い、人としての生き方を自らに問い、これからの人生を通して、学び続ける人となってほしい。

「勉強するのは何のため？」の問いを熟考し続けることができる力を付けたい。同時に我々教職員も生徒と同様に高まることを願う。

目指す生徒像

- 他者と協働的に学べる生徒
- 考えを発信できる生徒
- 地域や社会に貢献できる生徒
- 常に自分を振り返ることができる生徒
- 人の痛みがわかる生徒



目指す教職員像

- 情熱を持ち、冷静な指導ができる教職員（生徒や家庭の背景をも見取り、関わりを持つ）
- 同僚性を大切に、協働的に学校作りを進める教職員（同じ方向性を持って協力し合う当事者意識）
- 実践を振り返り、お互いの力量を高め合う教職員（授業、生徒指導から学ぶ意識を持つ）
- 教育公務員としての責務を自覚し、生徒に寄り添い、家庭・地域と信頼関係がつけられる教職員（コンプライアンスの順守と個別の関わり）
- 真の働き方改革を実践できる教職員（ウェルビーイングを意識し、生徒のモデルとなる）

学校経営方針

- 教育目標の実現に向け、教職員が使命感を持ち、同僚性を大切にし、協働的に学校作りを進める。
- 生徒が自らの生き方を考え、目的意識を持って自己目標を設定し、その実現に向けて自己コントロールしながら前進できるように教職員が伴走し、「自信と誇り」をもてる学校づくりを進める。
- 学校・園など異校種間並びに地域社会との相互連携を推し進め、地域コミュニティを大切にしたい信頼される学校づくりを進める。
- 学校予算の効果的な活用や施設の有効活用、環境にやさしい学校づくりに努める。

令和8年度の重点目標

- ① 授業改善を柱に学校改革を推進する
 - カリキュラムマネジメントの視点を大切にする
 - 教科会、研究部会の充実
 - GIGA の活用研究
 - 小中一貫教育の推進
 - 生徒会活動の可視化と充実
 - 授業改善の研究成果を発表する
- ② 一人ひとりの生徒への関わりを意識した指導
 - 教科指導が生徒指導と捉える
 - 別室の効果的活用
 - 生徒との関わりに関する学校臨床力の向上
 - SC、SSW との連携強化